

カーリングの日本代表が男女共に出場するのは1998年長野五輪以来、20年ぶりだ。男はSC軽井沢クラブ(長野)、女子はL.S北見(北海道)が出場する。進ま20、4歳のストーンを道のランで書き、狙った位置にストーンを止める「スウィープ」の技術を生かして、世界に挑む。

カーリング

超人の科学

カーリングは趣味の方交互にストーンを投げ、最終的に約40秒先の円(ハウス)の中心近くにストーンを置く

チームが得意とする。ストーンを狙ったところに投げたり、止めたりするためにスウィープの技術は欠かせない。ストーン半回転(約90度)のコントロールが勝敗を決める。というれる競で、スウィープはストーンの伸びを3倍、曲がる距離を10倍変える効果がある

とされる。

(両角友佑)

「スウィープで欧米に負けをとりな」と語り、共に自奮を見る。

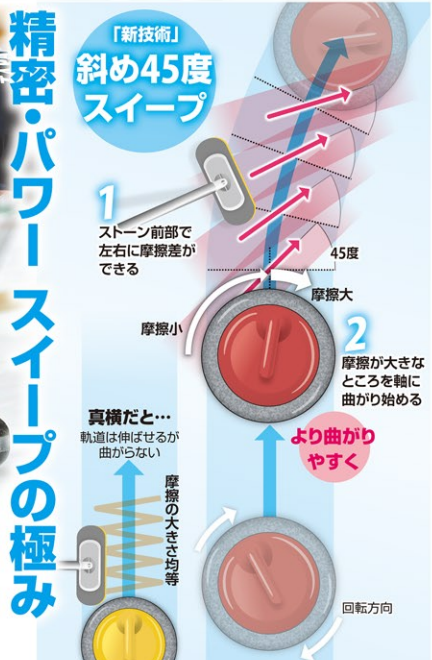
ストーンの滑りを左右するのは、リングにぬるま湯をまいて作るペブルと呼ばれる直径約0.5ミリの氷の粒だ。スウィープすると摩擦熱で水が解けてペブルが水の膜に包まれ、滑りやすくなる(考えられている)。

スウィープで高い摩擦熱を作るには、どうすればいいのか。日本カーリング協会強化委員長で、スウィープのバイオメカクスに詳しい北見工業大学の柳等准教授(以下)は「スウィープはフレンジで氷に垂直にかけると大きく、掃く速さ(重要)」という。

スウィープの摩擦熱は速さをおさえなくても、5倍だけ重くの力を2倍にするという倍になるという。体格のいい欧米選手は、氷に体重をかけやすい。

深く速くより熱く

背筋を徹底強化 スウィープの力強さ(定評ある両角友佑)SC軽井沢)は身長165、体重80。小柄な体格をカバーするのがフレンジ下半分の低い位置を持つ、深く前傾して体重をかける。スウィープは、チームに入った片足前はあまり前傾せず、フレンジの真ん中と上4分の1ほどの高い位置を持っていった。パワーがないので速く掃くことを意識して来た。(両角友佑が約2年かけてフォームを矯正。週4、5回ほど背中のトレーニングを重点的に)「スウィープは、深い前傾をつつ素早いフレンジの押し引きができるようになった。柳准教授は「ほぼ全体重をかけることは深く前傾する必要があり、深く前傾はフレンジを崩れやすい」と、その難さを指摘する。



「スウィープで欧米に負けをとりな」と語り、共に自奮を見る。

ストーンの滑りを左右するのは、リングにぬるま湯をまいて作るペブルと呼ばれる直径約0.5ミリの氷の粒だ。スウィープすると摩擦熱で水が解けてペブルが水の膜に包まれ、滑りやすくなる(考えられている)。

スウィープで高い摩擦熱を作るには、どうすればいいのか。日本カーリング協会強化委員長で、スウィープのバイオメカクスに詳しい北見工業大学の柳等准教授(以下)は「スウィープはフレンジで氷に垂直にかけると大きく、掃く速さ(重要)」という。

スウィープの摩擦熱は速さをおさえなくても、5倍だけ重くの力を2倍にするという倍になるという。体格のいい欧米選手は、氷に体重をかけやすい。

常識変えた新カーブ

「前傾姿勢で素早いフレンジに力強く、体幹、背筋、腕の力を2倍にするという倍になるという。体格のいい欧米選手は、氷に体重をかけやすい。」



SC軽井沢クラブ
両角友佑(33)、清水徹郎(30)、山口剛史(33)、
両角公祐(29)、平田浩介(25)
2013~17年日本選手権5連覇

高い技術で攻撃的に

「氷上のチェス」と呼ばれるカーリングの戦術には、円の近くにストーンを置いて得点を奪う攻撃的な「ドロウ」、相手ストーンをはじき出して得点させない守備的な「テイクアウト」、相手ストーンを出しつつ自分のストーンを狙った位置に止める攻守兼用の「ヒットロール」などがある。

ストーンはストーンを運ぶ距離を伸ばすのが主目的だった。近年、そのスウィープの常識が変わった。ストーンは掃くスピードが速くなる。曲がるスピードが速くなる。ストーンは速く曲がる。ストーンは速く曲がる。ストーンは速く曲がる。

「スウィープで欧米に負けをとりな」と語り、共に自奮を見る。

ストーンの滑りを左右するのは、リングにぬるま湯をまいて作るペブルと呼ばれる直径約0.5ミリの氷の粒だ。スウィープすると摩擦熱で水が解けてペブルが水の膜に包まれ、滑りやすくなる(考えられている)。

スウィープで高い摩擦熱を作るには、どうすればいいのか。日本カーリング協会強化委員長で、スウィープのバイオメカクスに詳しい北見工業大学の柳等准教授(以下)は「スウィープはフレンジで氷に垂直にかけると大きく、掃く速さ(重要)」という。

スウィープの摩擦熱は速さをおさえなくても、5倍だけ重くの力を2倍にするという倍になるという。体格のいい欧米選手は、氷に体重をかけやすい。

村田決勝2回目進めず

1日目の女子決勝で、この種目は日本勢でただ一人出場した村田愛里咲(行学学園)が1回目で18位に終わり、上位12人による2回目に進めなかった。ペーリース・ラフオン(仏)が優勝した。

北九州市出身で、同市の幼稚園で教諭を務める。園児には「笑顔で最後まで全力で滑りきるぞ」と約束していたという。自分の滑りがダメなとき、やむを得ず泣いた。涙をいっぱい浮かべたまま、約束を果たすを見せた。(田中潤)

モーグル

モーグルは、滑走中に回転(回ひねり)を繰り返しながら、着地後のターレットとスムーズにつなげる

カーリング

混合ダブルス準決勝2試合 ※決勝番組



モーグル

モーグルは、滑走中に回転(回ひねり)を繰り返しながら、着地後のターレットとスムーズにつなげる

カーリング

混合ダブルス準決勝2試合 ※決勝番組

混合ダブルス準決勝2試合 ※決勝番組

混合ダブルス準決勝2試合 ※決勝番組